

## 式 辞

先ほど入学を許可しました214名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。入学のこの日を心待ちしておられたご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆様にはご多用の中、ご臨席を賜りましたこと誠にありがたく、高いところからではございますが厚く御礼申し上げます。

今日、みなさんが集われた兵庫県立西宮香風高等学校は、平成13年に全国でも最先端の多部制単位制高等学校として、ここ西宮の地に誕生しました。桜の名所である夙川の河口に広がる香櫨園浜の風が香る「香」と、多部制単位制高校という弾力的な教育課程を生かした教育内容から生まれる新しい学びの「風」が広がることを期待して、「西宮香風」と名づけられました。本年はその創立から19年目を迎え、すでに2,774名に及ぶ卒業生が未来に向かって飛躍し、巣立っています。みなさんもこの「香る風」を背に受けて、未来への道を切り拓いていってください。

数ある高校の中から本校を選んで入学されたみなさんは、西宮香風高校が「多様性」を大切にしていることをよくご存じのことと思います。音楽にたとえると、本校はオーケストラのような学校です。オーケストラでは弦楽器、管楽器、打楽器など、さまざまな種類の楽器が集まってひとつの曲を演奏しますが、バイオリンにはバイオリンの、フルートにはフルートの、ティンパニにはティンパニしかない音色や響きがあります。また、それぞれの楽器が生まれた時代も地域も様々です。そんな形も音も、生まれも異なる楽器がひとつに集まることで、オーケストラは古今東西の曲を豊かに奏でることができるのです。西宮香風高校は様々な個性や年齢、生活環境、将来の夢も異なる生徒が共に学ぶ学校です。一緒に学校生活を過ごすことを通して、「自分らしさ」を改めて発見したり、多様な見方を生かして新しい考え方を生み出したりすることができる、可能性に満ちた学校です。

一方で、学校の中でみなさん一人ひとりが異なった存在として認められているということは、自分が手抜きをすれば全体もまたうまくいかないだろうと意識できることと表裏一体です。多様性を重んじ、互いの個性を尊重していくためにも、本校ではルールを守り、マナーを身につけることも、学校の学びとして重視しています。

さて、入学生の皆さんは、今どのような気持ちでいるのでしょうか。きっと、高校生活へのワクワクした期待とドキドキした不安が入り交じっているのではないかと思います。香風高校には、「ちょっと助けて」と声を上げれば、だれかがすぐに駆けつけてくれるような、温かい雰囲気があります。困ったら、教えてもらう、手伝ってもらうということが、何の遠慮もなく当たり前のようにできる学校です。みなさんがつまずいたり、壁にぶつかったりした時には、一緒に考えてくれる先生方もいます。そっと側に寄り添ってくれる友人も、やがてできるでしょう。どうか安心して、高校生活の第一歩を踏みだしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日より皆様の大切なお子様をお預かりすることになりました。卒業時には西宮香風高校に入学させてよかったと喜んでいただけるよう、教職員一同、全力をあげてお子様の教育に取り組む所存でございます。教育は家庭と学校が連携してこそ実を結ぶものです。どうか本校教育活動に対するご理解ご協力、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

本日、入学されたみなさん全員が本校で充実した日々を過ごされ、人として確かな成長を遂げられますことを祈念して式辞とします。

平成31年4月8日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子